

『山の日フェスタぎふ 2019』に出展しました

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター岐阜水源林整備事務所

岐阜水源林整備事務所は8月11日・12日に開催された「山の日フェスタぎふ（主催：岐阜県、公益社団法人岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会など）」に今年も参加しました。

岐阜県では毎年8月8日を「ぎふ山の日」、8月を「ぎふの山に親しむ月間」と定めており、「山の日フェスタぎふ」は、毎年8月山の日的前後に開催されるイベントです。

例年、岐阜駅構内を会場としていましたが、今年は駅から3.7km北へ離れたぎふ清流文化プラザ（岐阜県岐阜市学園町）にて開催されました。



前回は、お盆の時期ということもあり、電車での帰省の際に駅構内のブースへ多くの方々にお立ち寄りいただきました。今回は、会場が駅から離れたこともあり、ご来場いただけるか心配でしたが、家族連れを中心に大人50名、こども51名の総勢101名の多く皆様にご参加いただきました。

出展ブースでは、当事務所が実施する水源林造成事業のパネル展示、松ぼっくりやどんぐりを使った工作コーナーと、漢字クイズを実施しました。工作コーナーと漢字クイズでは、お子様よりご両親の方が夢中になって取り組んでいる(?)場面も見受けられました。

漢字クイズのコーナーには、漢字検定2級を受けたことのある猛者も来られ、8割以上の正解を出されていました。また、「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターのミナモも挑戦してくれました。ミナモは岐阜県の川の水面（みなも）に住む妖精で、身振り手振りと筆談で一生懸命回答してくれました。

岐阜県では森林に対して責任ある行動をとれる人材づくり「ぎふ木育」を進めており、来年4月にはぎふ清流文化プラザのとなりにぎふ木育拠点施設「ぎふ木遊館」がオープンを予定しています。

「ぎふ木育」の考え方では木や森に「ふれあう、親しむ」、「関心をもつ、気付く」といった段階的・継続的な取組を経て理解を深めてもらうことが重要とされており、今回の出展で、まさにお子様が木に「ふれあう、親しむ」ための機会を提供させていただくことができました。



漢字クイズに取り組む子供たち

岐阜水源林整備事務所は「ぎふ木育」に賛同し、このようなイベントを通じた取り組みを進めるとともに、水源林造成事業について県民の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。